



ネットめばえ



発行：公益財団法人兵庫県生きがい創造協会 西播磨文化会館内 西播磨生活創造プラザ
〒679-4311 たつの市新宮町宮内 458-7 URL: <http://nishiharimabunka.jp>

カニって すげえ！

あいおいカニカニプラザース

相生市立中央小学校5年生、兄の大角一尋（おおすみひとひろ）君、弟の4年生、大角涼斗（おおすみりょうと）君が、カニについて調査を始めたのは、2015年6月、県立大学和田年史准教授が講師を務める相生湾の干潟観察に参加したのがきっかけでした。当時2年生と1年生の兄弟は、生まれ育った近くの相生湾で、はさみの格好や甲羅の色や形が微妙に違ったカニを見つけ、カニのカッコよさに心を奪われ、とりこになったのです。

冬の間、陸の巣穴で冬眠をしているカニたちは、5月から11月にかけて、活発に行動を開始します。兄弟は、週末になると、相生湾周辺の干潟や砂浜や岩場に居るカニたちの研究に励みました。調査票に、見つけた場所、



カニのジオラマ

甲羅幅、逃げ足の速さ、凶暴さ、観察できた期間、餌の種類等、克明に記録します。

カニの話は面白かった。

「カニは敵から身を守るために、はさみを切り離して逃げます。脱皮を繰り返すうちに新しい爪が生えてくるのです。カニがブツブツと泡を吹いていますね。あれはカニがえら呼吸をして水を循環させているので、水が少なくなると泡を出すのです。僕たちはカニのトイレもみつけましたよ」

相生湾には56種類のカニが生息している事、その中には絶滅危惧種が23種類もある事、兵庫県には生息していないと思われていたチゴイワガニ、フジテガニ、ルーケブカガニも見つけた事等話は尽きません。

兄弟は、鋭い観察眼を持ち、たくさんの不思議を忍耐強く自分の足で探していく。その知識と考察力は、日本甲殻類学会で学術的に極めて高い価値があると、特別奨励賞を受賞されたのです。

兄が写真と記録を、弟が捕獲と役割分担を決めています。夢は、



あいおいカニカニプラザース

観察したカニたちの生き生きとした姿の写真や生態、気づいたことをまとめたカニ大百科を作成して、多くの人にカニを身近に感じてもらいたいとのことです。

カニの写真を見るだけで、名前、甲羅の大きさ、カニの生態がすらすらと解説出来るのには驚きでした。玄関には紙粘土で制作した相生湾に住むカニのジオラマがあり、壁には自分たちで見つけたカニの写真がすべてバッジにして飾ってありました。

小さな研究者に将来を聞きますと、海洋生物学者になりたい。これからももっと研究を重ねたいと、力強い現在進行形の言葉でした。

【取材・文責：浜田多代子・長尾智子】

平成31年度西播磨文化会館生活創造応援隊員募集のお知らせ

○西播磨地域に居住の方で、月1回程度当会館に集まることが可能な方、地域活動に理解のある方を募集します。

○募集人数 20名

○活動内容 生活創造しんぶん「ネットめばえ」の作成・配布、生活創造活動グループのネットワーク支援等

○問い合わせ先 (公財)兵庫県生きがい創造協会 西播磨文化会館 TEL 0791-75-3663